

カリキュラム

機構施設名：岡山職業能力開発促進センター
 実施機関名：株式会社アリオンシステム

(D)データ活用	表計算ソフト活用	ピボットテーブルを活用したデータ分析
----------	----------	--------------------

コースのねらい	表計算ソフトのピボットテーブル機能を活用し、効率よく大量のデータを集計し、様々な視点からデータの分析を行うための手法を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 多角的データ分析	(1)ピボットテーブルとは ・「ピボットテーブルはどういう機能なのか」「ピボットテーブルと普通の表はどのように違うのか」「ピボットテーブルを利用するメリット」など、ピボットテーブルの概要や特長などを解説する。 (2)ピボットテーブルの作成【演習あり】 ・ピボットテーブルの作成方法や各部の名称、基本的な操作方法を解説する。 ・ピボットテーブルの元となる表をデータベース形式にしておくこと、この表のルールについて解説する。あわせて、テーブル機能についても解説する。 (3)ピボットテーブルの活用【演習あり】 ・年単位や月単位などでグループ集計する方法を解説する。 ・構成比や比率などの集計方法を追加する方法を解説する。 ・フィルターやスライサーを使って、必要なデータを抽出する方法を解説する。 ・ピボットテーブルで集計した項目ごと(店舗別や担当者別など)に、別のシートにピボットテーブルを分割する。 (4)外部データの利用【演習あり】 ・外部データ(CSVファイル)をExcelに取り込み、ピボットテーブルを作成する方法を解説する。	3.5
	2 ピボットグラフによるデータの見える化	(1)ピボットグラフとは ・ピボットグラフを使うと、ピボットテーブルの集計表を簡単にグラフ化できること、ピボットテーブルとピボットグラフは連動していることなどを解説する。 (2)ピボットグラフの作成【演習あり】 ・ピボットグラフの作成方法や各部の名称、基本的な操作方法を解説する。 ・グラフの見映えを整える操作方法(タイトルや軸ラベルの追加、色の変更方法など)を解説する。 (3)ピボットグラフの種類の変更【演習あり】 ・データの内容に合わせて、グラフの種類を変更することや操作方法を解説する。 ・1つのピボットテーブルから、たとえば棒グラフと円グラフのような、種類の違うピボットグラフを作成する方法を解説する。	1.0
	3 複数テーブルの分析	(1)リレーションシップとは ・リレーションシップがどういう機能であるか、どういうときに設定が必要となるかを解説する。 ・「1対1」や「1対多」などの関係があることを紹介する。 (2)リレーションシップの設定【演習あり】 ・リレーションシップの設定を行うと、複数テーブル(たとえば「売上1月」「売上2月」「売上3月」)を関連付けて、ピボットテーブルで集計できることを解説する。 ・複数テーブル間にリレーションシップを設定する方法を解説する。 (3)複数テーブルのデータ集計【演習あり】 ・リレーションシップで関連付けした複数テーブルを元に、ピボットテーブルを作成する方法を解説する。	1.5
		合計時間	6.0